

VOICE ロシアのウクライナ侵攻に反対します 平和あってこそ登山です

大阪府勤労者山岳連盟 理事長 高橋明代 (2022年4月20日：記)

今年の大阪労山の総会の直前、目も耳も疑うロシアのウクライナ侵攻が始まりました(2月24日)。

私はこの侵攻に断固として反対します。この行為が国連憲章・国際法を破った蛮行であることは国連総会の場で明確になりました(決議は過去最高の141ヶ国が賛成)。避難民や一般市民への暴挙をみるにつけ心ふさぐ思いです。

この機に及んで「核兵器の共有」や「敵基地攻撃」を持ち出す政治家や著名人の動きは本当に危険です。今ここで危機に瀕している人たちへの想像力はないのかと嘆息します。侵攻からこの間、いろいろな意見や書籍、記事を読み、60数年も生きていて知らないことばかりだと自覚しました。 拾いあげてみると、

- ・ソ連共産党は31年前に自ら解党していること。現在のロシアに共産党はありません。プーチン率いる「統一ロシア」の単一政党で社会主義でも共産主義でもありません。いわば単一独裁の資本主義ですかね。

- ・クリミア併合…単語は知っていましたがその程度の理解しかありません。この後の2013年～14年にかけてのウクライナでおきたマイダン革命など複雑な歴史があったこと。

- ・コサックはウクライナ地域を治めていた自治集団。・チェルノブイリ原発がウクライナにあることも知りませんでした。

今回の侵攻を「満州事変」を思い起こすという知識人も多いです。1993年のイラク戦争もアメリカなどのイラクへの侵攻です。大量破壊兵器がイラクに存在するという理由で独立した一国に戦争をしかけたわけです。満州事変と同じく戦争は嘘と欺瞞で始まるわけです。そして、ロシアには表現の自由がないのは事実です。

では日本は大丈夫なんでしょうか？大阪府・市のコロナ対策の問題点を事実即ち報道したテレビ番組(「報道特集」)を、維新の会の国会議員はBPOに問題ありとして申し入れました。

また、陸上自衛隊に「反戦デモや報道はテロなどと並んで敵視する」文書があることも最近報道されています。

表現の自由が保障されなくなった時、あのロシアの女性ジャーナリストのような行動がとれるだろうか？自分の胸に聞いています。そのように、命を賭してロシアの侵攻を批判するロシア人もたくさんおられる事も見逃してはいけないと思います。

「戦争は女の顔をしていない」でノーベル文学賞をとったアレクシエーヴィッチさんはE T V特集(NHK)でロシア人に変化はあるかと問われて「今は冷蔵庫がいっぱいなので変化はない。でも冷蔵庫内が枯渇したときには人びとは声をあげるだろう」と言われました。その時を待つしかないのでしょうか。労山は「侵略戦争によって登山文化の発展が著しく阻害された」ことを趣意書で謳っています。いまこそ自主的な登山活動を阻む戦争や核兵器に対して多に語り、今年の平和行進を盛り上げましょう。